慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	共立薬科大学研究年報規定
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1987
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.32 (1987.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000032-0175

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

共立薬科大学研究年報規定

1. 投稿資格　共立薬科大学の教職員，大学院生，および卒業生。原報に限り，主著者が投稿資格者であることを必要とする。

2. 原稿の種別と掲載順序　原報，抄録，講演要旨，その他に分け，この別に投稿する。

　原　　報：未発表の研究論文，又は総説。受理年月日を明記し，受理順に掲載する。

　抄　　録：学会誌などの学術雑誌に発表された研究論文の抄録。

　講演要旨：前年の投稿締切日以後に開催された学会での研究報告の要旨。

　そ の 他：著書，訳書（共著，共訳を含む），総説，一般雑誌への投稿などの記録。抄録および講演要旨は，受理順に掲載するが，同一著者の投稿はまとめて掲載する。

3. 原稿構成　以下の通りとする。

原　　報	表紙	欧文要旨	本文	図表
抄　　録	——	——	本文	図表
講演要旨	——	——	本文	図表
そ の 他	6. の 5) 参照			

4. 原稿用紙　A 4 版，厚手の白紙，又はA 4 版（400字）横書き原稿用紙。

5. 印　　字　黒インクを用いること。但し，タイプライター，プリンターによる印字，及びそれらの鮮明なコピーでもよい。

　字の大きさは 3 mm 以上とする。

6. 書　　式　本年報を参考にすること。

　上下 3 cm，左右 2 cm の余白をとること。

1) 表　　題　表題は，原報では表紙に，抄録，講演要旨では，本文の第一ページに次の要領で，著者名（和名，英名），学外者の所属とともに書く。

　表　題　　A Study of Drugs　　赤の波線

　著者名（和名）大門立子，芝　共一*

　　（英名）Ritsuko Daimon, Kyoichi Shiba* 姓の二字目から赤の二重線

　　学外名は * を付し，所属をフットスペースに書く。

2) 欧文要旨　タイプ印書すること。250語以内とする。

3) 本　　文　図表を含まないこと。図表の挿入箇所には，3行分の余白をあけて中央に赤字で図表の番号を指示し，図表は別紙に書くこと。

　和文は1枚の用紙に，400字の倍数で書くこと（20×20，40×40）。

　欧文はパイカ体，ダブルスペースで印書すること。

　引用文献および脚注は末尾にまとめて付すこと。

用語，記号，単位，引用文献の書き方などは，薬学雑誌，Chem. Pharm. Bull. の投稿規定に準ずる。

略語を使用する時は，初出時に（　）内に略語を示すこと。

表題，著者名，Fig および Table の見出しの末尾にはピリオドを打たないこと。

行末のハイフンを残さなければならない時は，ハイフンの上に赤でチェックの印（✓）をつけておくこと。

抄録は1ページ目のフットスペースに当該掲載誌を記入すること。

例．本報告は，Chem. Pharm. Bull., 32 (6), 2174—2181 (1984) に発表

（誌名の下に赤で下線を，巻数の下に赤で波線を付けること。）

講演要旨は学会に提出した原稿，または要旨集のコピーを本年報の書式に合わせて，A4版の台紙に貼ったものでもよい。この場合，総字数を20字単位で，フットスペースに赤字で記入しておくこと。

講演要旨には，学会名，開催初日の月，開催地，開催年を記入する。

抄録，講演要旨に図表を入れる時は，原図を付すこと。

教養関係の原稿の書式は，その学会の書式に従う。

4) 図　表　原則としてトレースはしない。

図表はB4版の大きさをこえないものとし，原則として，A4版の白紙に黒色で明瞭に書くこと。（鮮明なコピーでもよい。）

写真はコントラストの強いものに限る。

Fig, Table の別と番号を赤字で明記する。

5) その他　著書，訳書，総説，一般雑誌への投稿の記録などは，書(誌)名，(共)著者（編者)名または（共)訳者名，出版社，出版地，刊行年を，また必要ならば題名，頁数を，A4の用紙に書いたものを提出する。

7. 提出部数　提出は一部でよいが，コピー一部を著者の手元に保存のこと。

8. 原稿提出先及び締め切り

投稿原稿は年報委員長に9月末日までに提出すること。

9. 採　否　原稿の採否は年報委員会が決定する。

不採用の場合は，ただちに投稿者に連絡する。

10. 校　正　三校までとし，各著者が責任をもって行い，3日以内に年報委員長に返却する。

11. 別　刷　原報の著者は，50部以上の別刷を希望するときは，希望部数を書いた紙片を投稿時に付しておくこと。50部をこえる別刷の実費は，著者の負担とする。

12. 表紙，目次，奥付，背文字，および別刷りの表紙の原稿の作成ならびにその校正は年報委員会が行う。

13. 発行時期　毎年3月に発行する。

14. 本規定の更改は，年報委員会がこれを行い，教授総会の承認を経るものとする。

15. 本規定は，昭和59年11月19日より発効する。